

## プログラム

開会挨拶 (9:20, 209 講義室)

年会長 厚味 巖一 (帝京大・薬)

口頭発表 I (9:30～10:30, 209 講義室)

座長 船山 信次 (日本薬科大学)

但野 恭一 (NuLink Co. Ltd., Japan、日本薬史学会国際委員会)

- O-1 マルクス・アウレリウスの『自省録』にみる自我同一性の危機について  
○宮崎 啓一<sup>1</sup>、吉田 和幸<sup>2</sup>、村岡 修<sup>1,3</sup>  
(1.三栄化工株式会社、2.医療法人岩尾会東京海道病院、3.近畿大学名誉教授)
- O-2 英国薬剤師会初代会長ウィリアム・アレンの生涯と事績  
○柳澤 波香  
(青山学院大学・津田塾大学)
- O-3 東洋医薬協会と朝鮮の漢方復興運動  
○山形 悠  
(二松学舎大学文学研究科博士後期課程1年)
- O-4 近畿大学所蔵のペニック標本の調査研究  
○坂東 桜羽、高浦(島田) 佳代子、遠藤 雄一  
(近畿大・薬)

休憩 (10:30～10:45)

特別講演 I (10:45～11:30, 209 講義室)

座長 山岡 法子 (帝京大・薬)

- SL-1 「平安の薫物“侍従”に配合される熟蓴金について」  
木下 武司 (帝京大学 名誉教授)

**ランチョンセミナー (11:40~12:20, 209 講義室)**

「サエラ薬局穴水店が地域に根差した薬局に成長するための道のりと  
能登半島地震の復興支援について」

宮本 啓悟 (株式会社サエラ サエラ薬局亀戸店)

**口頭発表Ⅱ (12:30~13:30, 209 講義室)**

座長 宮崎 生子 (帝京平成大・薬)

松崎 桂一 (日大・薬)

**O-5 薬業者 11 代林源十郎の社会貢献事業**

—孤児院への寄付リストおよび大原孫三郎との交流を中心に—

○安土 昌一郎

(立教大学経済学部)

**O-6 明治からの 150 年史：薬剤師の立ち位置と役割の変遷と史的考察**

○武立 啓子<sup>1</sup>、赤木 佳寿子<sup>1,2</sup>

(1.日本薬史学会、2.一橋大学大学院社会学研究科)

**O-7 薬学教育の変遷 - 医療薬剤師教育の経緯と未来**

○伊藤 淳雄<sup>1</sup>、竹内 幸一<sup>2</sup>、村田 正弘<sup>3</sup>

(1.茅ヶ崎中央病院、2.明治薬科大学、3.元 NPO・SMAC)

**O-8 医薬品の安定供給に向けた政府と業界の対応について**

○但野 恭一

(NuLink Co. Ltd., Japan、日本薬史学会国際委員会)

**休憩 (13:30~13:40)**

**次年度年会長挨拶 (13:40~13:45)**

日本薬史学会 2025 年会 (静岡) 会長 桐原正之 (静岡理工科大学・理工)

## ポスター発表

ショートプレゼン (13:45~14:20, 209 講義室)

説明 (14:30~15:15, 302 講義室)

進行 山岡 法子 (帝京大・薬)

P-1 ステロイド骨格の立体配座解析に関する史的考察 (第1報)

コレスタンの立体配座について

○八百板 康範、町田 浩一  
(東北医薬大・薬)

P-2 「天岩戸」神話と大麻の科学： Cannabidiol(CBD) から  $\Delta^9$ -Tetrahydrocannabinol (THC) への熱変換反応が示唆する古代人の知恵

○武田 収功  
(横浜薬科大学・薬学部)

P-3 Ca拮抗薬開発における日本の貢献と REDOX からみた新展開

○上林 将人<sup>1</sup>、中西 郁夫<sup>2</sup>、松田 久司<sup>1</sup>、萬瀬 貴昭<sup>1</sup>、森川 敏生<sup>1</sup>  
(1.近畿大学・薬総研、2.量子科学技術研究開発機構・量子生命科学研究所)

P-4 明治時代の山梨県におけるブドウ酒醸造への薬学からのサポート

○五位野 政彦  
(東京海道病院・薬)

P-5 澤野医院記念館に残された医薬品・医療器具の調査研究 (2)

松永 貴有来<sup>1</sup>、大塚 聖也<sup>1</sup>、星野 嘉創<sup>1</sup>、石上 奈津実<sup>1</sup>、植田 真斗<sup>1</sup>、川田 明香里<sup>1</sup>、  
久米 昂貴<sup>1</sup>、塩入 舞倅<sup>1</sup>、森谷 凜々歌<sup>1</sup>、山口 更紗<sup>1</sup>、小栗 勝也<sup>2</sup>、  
○桐原 正之<sup>1</sup>  
(1.静岡理工科大学・理工、2.静岡理工科大学・情報)

P-6 調剤学テキストの記載内容から見た調剤過誤の防止およびその対処法の変遷

○江戸 清人<sup>1</sup>、安藤 崇仁<sup>2</sup>  
(1.仙台医健・スポーツ専門学校、2.帝京大・薬)

P-7 薬学教育の変遷 - 六年制の未来像

○竹内 幸一<sup>1</sup>、伊藤 淳雄<sup>2</sup>、村田 正弘<sup>3</sup>  
(1.明治薬科大学、2.茅ヶ崎中央病院、3.元 NPO・SMAC)

P-8 蒲生明：大正期の福島県で開局した薬剤師

○安藤 勝<sup>1</sup>、村田 清志<sup>2</sup>、小林 初夫<sup>3</sup>

(1.元奥羽大学・図書館、2.奥羽大学・薬、3.奥羽大学・図書館)

休憩 (15:15～15:30)

## 特別講演Ⅱ

日本薬史学会 公開講演 (15:30～16:30, 209 講義室)

座長 森本 和滋 (日本薬史学会)

SL-2 「がん患者を支えるために～がん哲学外来から～」

樋野 興夫 (順天堂大学 名誉教授、新渡戸稲造記念センター長)

休憩 (16:30～16:40)

シンポジウム「食品と薬の歴史から学ぶ」(16:40～18:55, 209 講義室)

座長 厚味 巖一 (帝京大・薬)

S1 納豆の起源解明に向けた考古学的研究

中山 誠二 (帝京大学文化財研究所・客員教授)

S2 乳酸菌の歴史とその機能の可能性

山田 成臣 (株式会社 明治・研究本部)

S3 血漿分画製剤の過去・現在・未来

柚木 幹弘 (日本血液製剤機構 研究開発推進部)

S4 躍動する核酸医薬：試行錯誤の歴史を交えながら

井上 貴雄 (国立医薬品食品衛生研究所・遺伝子医薬部)

閉会の辞 (18:55～, 209 講義室)

情報交換会 (19:00～20:00, 大学棟 1 階 学生食堂)